



1 ねらい

明治時代後半から昭和にかけては、女性の地位の向上を目指した運動や公害問題の解決を目指した運動など、市民が主体となった様々な社会運動が行われ、社会が少しずつ変化してきていることをつかむことができる。

2 授業の流れ

1 導入・視聴前のポイント (10分)

・日清、日露の戦争が終わり、日本は工業化を進め、欧米列強と肩を並べるくらいに国力をつけてきたこと、産業の発展によって近代的な生活をもたらす一方、民衆運動や民主主義を求める運動が始まったことなど、明治後半から昭和にかけての年表を確認し、時代の流れの概要をつかんでおく。

★日本の国力の充実や国際的な地位の向上、それに伴う社会の変化について気付かせ、調べに対する意欲を高めておく。

2 学習課題の提示 (5分)

明治時代後半から昭和にかけて活躍した平塚らいてうや田中正造について調べよう

番組視聴 (情報収集) ワークシート1・2 (20分)

・平塚らいてうと田中正造が行ったことの概要について、分かったことをワークシート1・2に整理する。

★どのようなことを行ったのか

★どのような考えで行ったのか

★その人物が行ったことは、その後の社会にどのように影響を与えたのか

4 まとめ ワークシート3 (10分)

・視聴前に振り返った時代の概要とこの時間に視聴した2人の人物が行ったことをつないで、2人の人物が生きた時代の様子を自分なりのことばでワークシートにまとめ、交流する。

★子どもが感じたままをワークシートに記入できればよい。

3 評価のポイント

・平塚らいてう・田中正造それぞれの人物について、その業績と社会への影響をつないで考えることができたか。(思考・判断・表現…主にワークシート1・2)

ワークシート例

歴史に
ドキュメント
ワークシート



ひらつか
平塚らいてう

たなかしょうぞう
田中正造

～市民運動の高まり～

くみ なまえ

学習課題

明治時代後半から昭和にかけてかつやくした平塚らいてうや田中正造について調べよう

1 平塚らいてうについて調べよう。

いつの時代 明治時代後半から昭和

行ったこと 女性が自由に意見を述べられる場を女性だけでつくろうと決心し、文芸雑誌「青鞥」を発表した。

有名なことば 「元始、女性は実に太陽であった。今、女性は月である。」
「天才は、男性にあらず、女性にあらず。」

どんな影響を与えたか 明治時代、社会に出てかつやくできる場はほとんどなかった女性たちの自立を大きく後押しした。

2 田中正造について調べよう。

いつの時代 明治時代後半

行ったこと ・国会議員として足尾銅山の鉱毒をなくす対策を何度も政府に求めた。
・苦しむ農民たちの現状を、直接、明治天皇に訴えようとした。

どんな影響を与えたか 多くの新聞が事件を大々的に報じ、公害に対する問題意識が国民に広まるきっかけとなった。

3 2人が生きた時代についてまとめよう。

例) それまで自由にもものが言えず、行動を起こすことができなかった市民が、社会の変化とともに、自分たちの考えのもとに行動を起こし、社会を変えていっているような気がします。
(子どもたちの考えでよい)

